

モンゴルから静岡へ 静岡からモンゴルへ

参加料
無料
要・事前申込

～持続可能な交流と次世代育成～

モンゴルと聞いて連想するものといえば、“遊牧の国”、“ゲル”……。多くの方が共感してくださると思います。ここ数百年で地球の環境が悪化している問題に直面をする中、遊牧民たちの文化、社会構造が環境と調和していることに気がつき、さらに理解を深めようという取組・研究がなされています。これら取組や研究の一端にふれることで、モンゴルへの理解、そして自分達の暮らしをみつめるきっかけにしてみませんか？

さらに、「静岡県」に目を転じてみましょう。静岡県がモンゴルとの交流を開始し、約10年が経過しています。国内において、本県は、自治体間の交流にとどまらない、「モンゴルとの交流を進めるフロントランナー」としての役割を果たしています。

産・官・学の分野で、築き上げた信頼を今後どう活かしていくか、相互にとって恩恵を享受できる関係性を構築・持続するヒントを探りたいと思います。

開催日時 **令和7年**

3月6日木

13:30～16:50(13:00開場)

会場の御案内 (定員:100名)

●会 場：もくせい会館 富士ホール

静岡市葵区鷹匠3-6-1



●申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからお申込みいただけます。



●申込期限

令和7年3月4日火 17:00

プログラム (敬称略)

■開会挨拶・趣旨説明

講演の部

■モンゴル人が考えるSDGs

静岡県立大学グローバル地域センター客員教授・
モンゴル国大学院大学国際研究所教授
パンティーン・ガンホヤグ

■グローバルヘルスリーダーシップを育てる：
モンゴル国の高等教育機関・医療機関との交流を通じて

静岡県立大学看護学部 国際看護学・看護管理学教授
竹熊カツマタ麻子

■モンゴルにおける日本語学習事情

元モンゴル国立大学日本語講師
元JICA青年海外協力隊訓練所モンゴル語講師
ダンバダルジャー・ナランツェツェグ

パネルディスカッションの部 (50音順)

- 静岡県立大学看護学部 看護学科・株式会社なまけもの 代表取締役社長 **高林佑介**
- 伊豆の国市 企画財政部 協働まちづくり課 広報広聴室長 **夏目健次**
- 有限会社ヤナザイ ニヤムジャウ・ムンフバト
- 焼津市 生きがい・交流部国際交流課(外交専門官) **バーサンスレン・ヤンジルハム**

司会 静岡県知事直轄組織 地域外交局地域外交課 地域外交専門官 **杉村 エルデネハタン**

■主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603

https://www.global-center.jp E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

後援

静岡県、島田市国際交流協会、
焼津モンゴル友好協会、
伊豆の国市友好都市交流協会